

# 教育×SDGs—中山間地の外国人住民に届く

## 大学生によるオンライン日本語学習支援—



キーワード: 教育 SDGs、中山間地、外国人住民、大学生、オンライン、日本語学習支援

### ○活動に取り組んだきっかけ・背景

公益財団法人浜松国際交流協会 (HICE) とは、2016 年ごろより日本語を学ぶ外国人住民と本学の学生との交流を通し関係を築いてきました。2020 年からは、日本語学習者と日本語教師を目指す大学生双方の教育的効果を狙い、HICE 所管の中山間地の日本語教室で日本語教師志望の学生がオンラインで教壇に立っています。

### ○活動の目的

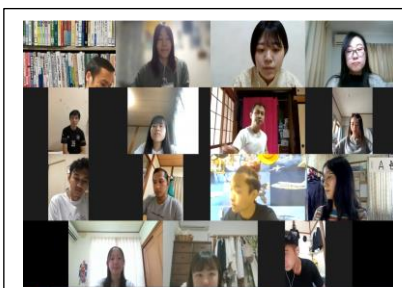
浜松市には多くの日本語教室がありますが、学習に不便な地域も見られ、天竜日本語教室もその一つでした。一方、本学で日本語教育を学ぶ学生はコロナ禍もあり、十分な教育実習の機会が得られない状況にありました。そこで、双方の教育的課題を解決するとともに、多文化共生社会実現に寄与することを目的に本活動を行っています。

### ○具体的な内容

令和 4 年度で 3 年目となる本活動では、天竜の教室に学習者と HICE 職員及び、同教室のボランティアの方々が集い、本学の学生と教員は自宅からオンラインで参加する形態にて、月に 1 回の日本語教育を継続しています。令和 3 年度は、教科書を用いた日本語の授業を行うとともに、Show&Tell という自身に関係のある写真をもとに、自分の好きな人や場所、ことなどを語り合いました。そこで得られた内容を原稿化しスライドを作成してスピーチが行えるところまで高める協働作業を重ね、最終的には、地域住民を前にした発表会を二度開催しました。

### ○期待される効果など

急速に人口が減少する日本には、今後一層外国人の方々が来日して暮らし、仕事をして税金を納め、この国の社会保障制度を支えてくれます。その外国人住民の日本語力を高めることは、彼らの日本へのスムーズな適応を促します。また、本活動の成果を発信するとともに、外国人と日本人が同じ住民として交流する場を創出することは、今後到来する多文化共生社会の当事者である日本人住民の意識涵養にもつながると期待されます。



教員名 : 坂本勝信・谷 誠司・山下浩一  
所属学部・学科: 経営・外国語 (GC) ・経営  
職位 : 教授・教授・准教授

連携先  
公益財団法人 浜松国際交流協会  
(HICE)